

# 令和元年度 あいさんテラス事業報告

## 【事業所理念】

テラスに関わる全ての人が毎日幸せだと感じられる為に物心両面での環境を整える

## 【重点取り組み内容】

- 1、職員の専門性の向上
- 2、権利擁護の徹底
- 3、社会的自立の支援
- 4、里親支援の充実

## 【運営計画】

### 1、職員の専門性の向上

#### ①発達障害の特性と具体的な対応を学ぶための研修

処遇困難なケースや発達障害を有する児童が増加していることから、職員のスキルアップと専門性を高め、児童の発達状態や個性に合わせた養育に関する研修を実施した。

- ・外部の専門講師による施設内研修を6回実施した。
- ・外部研修に15名参加した。

#### ②自立支援計画に基づいた支援の実施

子どもたちの中には、虐待を受けた結果、専門的な対応が求められるケースや成育等に複雑な背景を持ったケースが増えてきていることからの確かなアセスメントの実施と自立支援計画に基づいた支援の必要性を学び、共有化を図るべく研修を実施した。

- ・自立支援計画についての研修を2回実施した。

#### ③専門図書の購入を推進し、施設全体で活用できるようにした。

「児童福祉施設における暴力問題の理解と対応」等の書籍を購入し、職員間の知識・技術の共有を図った。

#### ④エルダー制度の導入

新人職員を一定期間サポートすることで職場環境への適合性を高め、相互理解を深めるとともに、離職防止につなげることができ、エルダーの成長にもつながった。

- ・新人・エルダー面談：4回実施した。

## 2、権利擁護の徹底

### ①安全委員会方式の継続

成長発達の基盤である安心・安全な生活を保障するため、関係機関等の関係者の協力を得ながら技術的支援の向上に繋げた。

- ・安全委員会方式の職員研修（委員会中心）を3回実施した。

②「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検を2回実施し、人権侵害の防止に努める意識を持つことができた。

③あいちCAPプラスによる「性教育・人権擁護」についての研修を6回実施した。

## 3、社会的自立の支援

### ①社会経験の充実を図る

職場実習、職場体験、ボランティア等を通じて、自分の適性を知る機会となり、将来の就職のイメージに繋げることができた。又、高2の児童2名はアルバイトを通じて社会のルールを覚え、働くことの責任を実感できる機会となった。

### ②退所児童に対する相談支援

テラスでは初めて高校卒業と同時に、就職して一人暮らしを始める児童が2名いる。初めて社会と向き合う児童に対して必要に応じて訪問等を行い、悩み事や躓いたときに気軽に相談できるよう退所後の相談体制の充実を図った。

- ・一人暮らしを始めた児童からの電話相談では、公共料金の支払方法や役所の手続きについて2回あった。又、一人暮らしの寂しさからの電話相談も数回あり、訪問して話を聴くことで安心感に繋げることができた。

### ③全中学生の通塾の実施

学力不足を補うため学習の機会を確保し、高校進学に夢を持たせるよう支援することができた。

- ・全中学生（中1：2名 中2：3名 中3：3名）8名が通塾し、中3の3名は、希望する高校に合格することができた。

## 4、里親支援の充実

### ①里親支援マニュアルの整備

里親実習受け入れ等、里親支援専門相談員以外の職員でも対応できるようにすることと、里親制度についての理解を深めるためのマニュアルを整備した。

### ②施設入所児童生活体験事業の取り組み

週末、学校の長期休暇期間を利用して里親宅へ宿泊し、家庭的な環境の中で過ごすことで家庭生活や社会経験を体験させ退所後の自立に向けた。

- ・対象児童2名：面会5回、外出5回、外泊2回実施した。